

貴重な資料でその歴史を辿ります

角館町に図書館が建てられて一〇〇年

移動図書館を心待ちにしていた昭和の農村



図書館 100年の たからもの

令和2年 令和3年
会期 9.26_土 - 4.11_日

開館時間：4月～11月は9時～17時、12月～3月は9時～16時30分
(入場は閉館30分前まで)

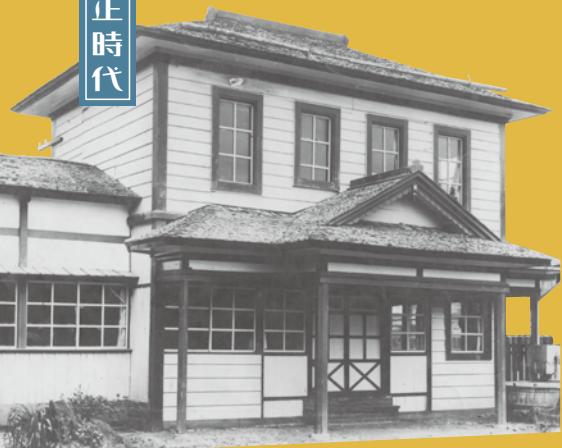
休館日：祝日を除く毎週月曜日、令和2年11月24日、令和3年1月12日、
年未年始 12月29日～1月3日

入館料：令和3年3月末まで無料

会場 **新潮社記念文学館**

〒014-0311 秋田県仙北市角館町田町上丁23
TEL 0187(43)3333

大正時代



昭和時代



平成時代～令和



図書館 100年の たからもの

ひとつの種が水を得、土から栄養をもらい、太陽の恵みを受けながらやがて花をつけるように、角館の図書館は、その誕生から現代に至るまで、様々な人々の努力により「文教の地」の拠り所としての役割を果たしてきました。昭和の時代には、町の境界を越えた活動もあり、その生い立ちには稀有な存在であると思います。

誕生から一〇〇年。これまで関わっていただいた方々の資料や図書館が所蔵している「たからもの」を通して歴史を振り返る今回の展示です。諸先輩方の一世紀分の深い思いに触れていただければ幸いです。



100年を支えた郷土の文化人たち

角館が輩出した優れた文化人たちの存在も図書館発展を後押ししてきました。「新潮社」を創設した佐藤義亮に始まり、現在まで続く書籍の寄贈は、図書館の土台をなしてきました。

日本画の大家である平福百穂もまた、その筆をもって活字に華やぎを加え、多くの読者の心をとらえています。

こうして、100年の歴史とともに所蔵されてきた資料の数々は、まさに「たからもの」です。



主な展示品

- 図書館建設関係資料 「新築設計図(大正時代)」
 - 図書館関係資料 「図書館要覧 創立15周年」
 - 「図書館要覧 創立30周年」
 - 「図書台帳」
 - 「雑誌 新聲」
 - 「雑誌 アララギ」
- 佐藤義亮
平福百穂

その他、歴史の変遷をたどる書籍や、特別収蔵資料なども展示いたします。

新潮社創業者
佐藤義亮

Giryō Sato
1878-1951

生誕の地

秋田
角館



新潮社記念文学館

Shincho-sha Memorial Museum
of Literature

〒014-0311 秋田県仙北市角館町田町上丁23
Tel.0187-43-3333 ※仙北市学習資料館共通
www.city.semboku.akita.jp/sightseeing/bungakukan/

